

大西 英彦

【おおにし 英彦】

変えたい！四国中央市

100年後の子供達に誇れる街づくり



四国中央市
経営計画



後援会案内討議資料

100年後の子供達に誇れる街づくり



私のマニフェスト／未来への5か条

1. 未来への「リスク管理」を

コロナウィルスにより生活環境を大きく制限されるなか、あらゆる企業が苦しい経営を強いられています。コロナに限らず次なるリスクにも柔軟かつ迅速に対応できるための準備と対策を検討していきます。

- 医療機関の足元状況の調査と今後の医療ニーズを踏まえた協議を実施
- さらなる危機への準備として地域リスク管理方針の策定
- 市内の防波堤となる徹底した感染防止対策チームの設立

2. 暮らしと環境が両立する「環境未来都市」へ

四国中央市は紙産業を主軸に全国有数の工業地域に発展してきました。これからの紙産業のさらなる発展の後押しをするとともに、企業と市政が一体となって工業地帯として全国トップ水準の環境都市化を目指します。

- 企業や研究機関と市政間の密な連携が取れる体制整備
- 暮らしと工業が一体となる都市環境整備
- 政府も推奨する*SDGs(持続可能な地域社会プログラム)の導入

※ **SDGs**
(エスディーゼズ)
持続可能な地域社会プログラム

3. 未来への「種まき」教育を

四国中央市の未来を担う優秀な人材を育てていくことが地域産業の発展にも繋がります。教育の質と密度を高めるために学校の統廃合を検討し、教員負担の増えない生産的な運営と高度な教育レベルの両立を目指します。

- 教育プログラムにICT教材を積極的に導入
- 学校運営の実態調査と効率化に向けた改善案の策定
- 教育活動に地域人材が参画する仕組みの活用
- 子供の教育支援から逆算した育児世代へのサポート

4. 「人生100年時代」を見据えた福祉を

これからのさらなる長寿社会を見据えて、高齢者から若者、障害手帳保有者まで、全ての市民に活躍の場があり、全ての市民が元気に活躍し続けられる、安心して暮らすことができる街を目指します。

- 高齢者雇用の促進
- 介護人材の育成ならびに処遇改善
- 早期の疾病予防・介護予防の奨励

5. 市民に「正直経営」な市政の実現を

すべての政策・事業目標を数値化し、市民への完全透明化と公正に評価できる仕組みを行政の中に取り入れていきます。地方交付税に頼らない予算編成の実現、市民に信頼してもらえる行政運営を目指していきます。

- 市民が政策・事業を理解するのに必要十分な情報の公開
- 数値データを元にした計画立案と結果を検証できる体制整備
- 幹部人材の若手からの抜擢や外部からの公募制の導入

大西ひでひこ後援会事務所

〒799-0405 四国中央市三島中央1丁目1-5

TEL(0896)23-6200 FAX(0896)23-6225

E-mail:hidehiko.onishi@gmail.com



大西ひでひこ略歴 [おおにし英彦]

【経歴】

昭和33年 4月12日生
昭和46年 三島小学校卒業
昭和49年 三島東中学校卒業
昭和52年 三島高等学校卒業
昭和56年 日本大学理工学部卒業
平成7年 株式会社 新興
代表取締役 就任

【職歴】

●愛媛県立三島高等学校 菱門同窓会 会長
●四国中央市スポーツ協会 副会長
●伊予三島ロータリークラブ 第50代会長
●日本青年会議所 常任理事
●宇摩合併研究会 初代座長